

【学力向上フロンティアスクール用中間報告書様式】(中学校用)

都道府県名	大分県
-------	-----

I 学校の概要(平成15年4月現在)

学校名	姫島村立姫島中学校					
学 年	1年	2年	3年	障害児学級	計	教員数
学級数	1	1	1	0	3	11
生徒数	28	34	33	0	95	

II 研究の概要

1. 研究主題

「基礎学力の定着を図る指導はどうあればよいか」
～個に応じたきめ細かな指導の追求を通して～

2. 研究内容与方法

(1) 実施学年・教科

- ・全学年・数学
小学校との連携による指導に取り組んでいるため。
- ・全学年・国語
幼・小・中学校及び社会教育等が連携した読書力向上の取り組みを、国語に生かすため。
- ・全学年・英語
これまでの実態調査の結果から、生徒の理解の状況に差が生じている教科であるため。
- ・全学年道徳・学級指導
学力向上のために、学習習慣の定着等の内面的な指導が必要なため。

(2) 年次ごとの計画

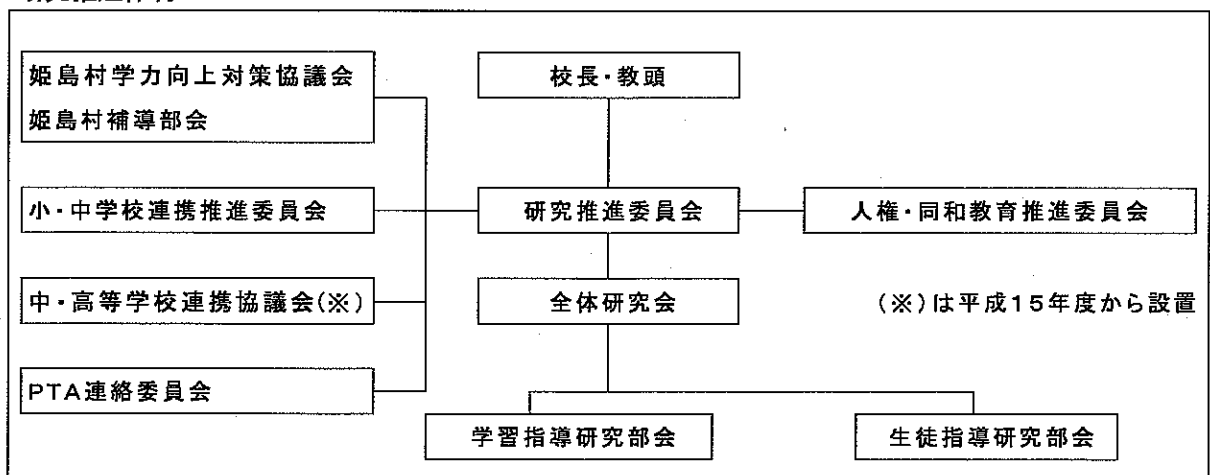
平成14年度	<ul style="list-style-type: none"> ○ テーマ 「基礎学力を向上させる指導はどうあればよいか」 ～個に応じたきめ細かな指導の追求を通して～ ○ 研究の見通し(仮説) 生徒の実態をとらえ、個に応じた指導のための指導方法・指導体制の工夫改善をすれば、基礎学力の向上がはかれる。 ○ 研究の内容・方法 <ul style="list-style-type: none"> ・小・中連携による数学のTT指導 ・国語の少人数指導 ・道徳、学級指導の充実
--------	---

平成15年度	<ul style="list-style-type: none"> ○ テーマ 「基礎学力の定着を図る指導はどうあればよいか」 ～個に応じたきめ細かな指導の追求を通して～ ○ 研究の見通し(仮説) 生徒の実態を客観的にとらえ、個に応じた指導方法や指導体制の工夫・改善にむけて、以下のような取り組みをすれば、基礎学力の定着が図れるであろう。
--------	--

	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力を定着させるための少人数指導やTT指導 ・学習習慣を身につけ、自ら学ぼうとする心を育てる指導 <p>○ 研究の内容・方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小・中学校連携による数学のTT指導 ・国語の少人数指導 ・英語の少人数指導(3年生は、実態調査の結果、理解度の差が出ているため習熟度別指導) ・道徳、学級指導の充実 <p>* 基礎学力の「向上」のためには、まず、「定着」を図る必要があるため、テーマを修正した。</p>
--	---

平成16年度	<p>○ テーマ(予定)</p> <p>「基礎学力の定着を図る指導はどうあればよいか」 ～個に応じたきめ細かな指導の追求を通して～</p> <p>○ 研究の見通し(仮説)</p> <p>生徒の実態を客観的にとらえ、個に応じた指導方法や指導体制の工夫・改善に向けて、以下のような取り組みをすれば、基礎学力の定着が図れるであろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力を定着させるための少人数指導やTT指導 ・学習習慣を身につけ、自ら学ぼうとする心を育てる指導 ・小・中学校連携による学習指導や子ども理解の推進 <p>○ 研究の内容・方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小・中学校連携による数学のTT指導のあり方 ・国語の少人数指導及び評価の方法 ・英語の少人数指導及び習熟度指導のあり方 ・道徳、学級指導の充実
--------	--

(3) 研究推進体制



Ⅲ 平成15年度の成果と課題

1. 研究の成果

・平成14年度の全国標準学力テストは三教科(国・英・数)の実施だったが、平成15年

度は(社・理)も実施できた。国・英・数においては平成14年度と比較して学力の実態が把握でき、指導の目標が明確化された。

- ・全国標準学力テストの分析により、個人指導の充実が図られた。
- ・小・中学校連携の取り組みで、教職員の交流や研究の交流、授業の交流、児童・生徒の交流(文化祭、体育祭)が行われ、相互理解が進んだ。

2. 今後の課題

- ・各教科の単元や個に対応した絶対評価方法の工夫・改善
- ・基礎学力定着に向けた習熟度別授業の推進と充実

IV 学力等把握のための学校としての取組

全国標準学力テストの実施(年1回)

V フロンティアスクールとしての研究成果の普及

- ・研究紀要の作成
- ・公開研究発表会の実施(平成16年11月予定)
- ・近隣の中学校・高等学校の各教科担当にも参加を呼びかけ、授業研究会を実施(平成15年12月4日に姫島中学校で、英語担当教師の授業研究会を実施)
- ・学校新聞に、提案授業の様子や学校行事の活動の様子を掲載し、姫島村の各家庭・事業所や東国東郡内の各学校に広報のため配布

◇ 次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。(複数チェック可)

【新規校・継続校】

15年度からの新規校

14年度からの継続校

【学校規模】

6学級以下

7～12学級

13～18学級

19～24学級

25学級以上

【指導体制】

少人数指導

T・Tによる指導

一部教科担任制

その他

【研究教科】

国語

社会

数学

理科

外国語

音楽

美術

技術家庭

保健体育

その他

【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】

有

無